

# 平成31年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：31004  
学校名：札幌市立啓明学校

改訂のポイント		○「子どもが自ら考え、判断し、表現する学習活動」の充実 ○学び合いの中で「自分への自信をもたせるきめ細かい指導」の充実	
項目名	項目内容	項目内容の具体	
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆「独立自往」の精神のもと、主体的に学習に取り組む生徒 ☆学び合いの中で、他者の考えを理解・検証し、自己の考えに自信をもって課題解決に向かう生徒	
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	<b>【昨年度の具体的な取組】</b> 考えの交流やグループでの課題解決学習の機会を継続してつくり、課題設定や指導の工夫改善を組織的、継続的にこなそう。	<b>【成果】</b> ⇒「授業中、自分で疑問やめあてをもって学習に取り組もうとしている」と「勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがよくある」の肯定的回答が4年連続増加し、8割を越え、否定的回答が1割未満となった。
	思考力・判断力・表現力等	<b>【昨年度の具体的な取組】</b> 自分の考えがうまく伝わるよう組み立て、積極的に発言し、主体的に授業に参加する生徒の育成をおこなう。	<b>【成果】</b> ⇒「意見を発言する前に、自分の考えがうまく伝わるように、話の内容や順序を考えている」の肯定的回答が6年連続して増加した。
	基礎的・基本的な知識及び技能	<b>【昨年度の具体的な取組】</b> 補習の取組ができるよう、校舎のラウンジで学習相談や補習プリントを置くなど有効利用する。	<b>【成果】</b> ⇒「分からないことは、そのままにせず、分かるまで努力するようにしている。」の肯定的回答が8割を越え、否定的回答が4年連続で減少している。
今年度の改善策（取組）	取組の最重点	<b>【取組の共有】</b> 他者を尊重し、主体的に学習に取り組む生徒の育成	
	具体的な改善策（取組）	○各教科における表現活動の課題設定をカリキュラムに組み込み、発言しやすい場面を積極的につくる。 ○学ぶことに興味や関心をもち、見通しをもって粘り強く取り組む学習活動を計画に取り入れる。 ○自己有用感をもたせるような学習交流ができるよう、課題設定の工夫を行う。 ○学習の定着が実感できるよう、自己評価の工夫を行う。 ○少人数指導や習熟度別の指導を効果的に取り入れる。 ○補習の取組ができるよう、校舎のラウンジをさらに有効利用する。 ○家庭での学習習慣が定着するよう工夫する。	
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○全国学力・学習状況調査や学校独自の調査結果等を活用 ○教科ごとの評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常のテストやノート、観察等） ○札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）の活用 ※「学ぶ力」を幅広い観点から評価し、成果等を検証	